

「業務用陸上無線通信の高度化等に関する技術的条件」（平成25年5月17日付け 諮問第2033号）のうち、「基幹系無線システムの高度化等に係る技術的条件」に関する提案

KDDI株式会社

2014年8月8日



「基幹系無線システムの高度化等に係る技術的条件」に関する提案

弊社では、基幹系無線システムを携帯電話基地局のエントランス回線システムとして利用しております。携帯電話基地局については、急激なトラフィック増加に対応するための高速大容量化が進んでおり、そのエントランス回線システムについても同様に高速大容量化が求められます。

高速大容量化を行う点から、次項のとおり提案をいたしますのでご検討をお願いいたします。

「基幹系無線システムの高度化等に係る技術的条件」に関する提案

■ 5.8/6.4/6.9GHz帯固定通信システム

- 現状放送事業用とされている周波数帯域に電気通信業務用システムを導入するための技術的条件の検討
 - ・ 現時点、当社で具体的計画はございませんが、電気通信業務用システムを導入する場合には、現在の6.5GHz/7.5GHzのシステムを元に多値変調方式や適応変調方式を追加したシステムとすることを希望します。

■ 6.5/7.5GHz帯固定通信システム

- 固定通信システムの高度化のための現行規定の見直し
 - ・ 審査基準にある「電気通信業務用固定局への割当てについては、原則として、4GHz帯及び5GHz帯から移行してくるものを対象とすること。ただし、周波数の有効利用に影響を及ぼさない場合は、この限りではない。」を緩和し、4GHz帯及び5GHz帯から移行してくるもの以外も利用可能とする制度整備を希望します。
 - ・ 現在の6.5GHz/7.5GHzのシステムを元に多値変調方式や適応変調方式を追加したシステムとすることを希望します。
 - ・ 合わせて、クロック周波数や占有周波数帯幅の許容値についても、現在の技術に合った基準に見直すことを希望します。

■ その他

- 他の周波数帯の固定局の検討
 - ・ 近接する6GHz帯の電気通信業務用固定局についても、上記同様多値変調方式や適応変調方式を追加することを希望します。